

JA全厚連情報

(毎月 1日 発行)

№1068 2018年6月1日

目 次

- 専門医制度等について協議..... 1
 地域医療を守る病院協議会を開催
- 第9次3ヵ年計画策定の考え方について協議..... 2
 事業企画委員会を開催

通信員だより

- 平成30年度新入職員研修会を開催(かづの厚生病院) 3
- 2人だけの卒園式(由利組合総合病院) 4
- コミュニケーションワークショップを開催(総合病院水戸協同病院) 5
- 看護の心を伝える イベント開催(総合病院水戸協同病院) 6
- 茨城看護の祭典で県知事表彰(JA茨城県厚生連) 7
- 「JA健康寿命100歳プロジェクト」の講演会を開催(相模原協同病院・伊勢原協同病院) 8
- 統合医療講演会を開催(相模原協同病院) 9
- 接遇大賞の表彰式を開催(伊勢原協同病院) 10
- 第22回市民公開講座を開催(伊勢原協同病院) 11
- 地域の心の拠り所となるために
- 第14回新町病院祭を開催(JA長野厚生連南長野医療センター新町病院) 12
- 働き方改革の推進 医師の定年を67歳延長へ
- ～地域社会に一層貢献し続けられるための組織改革～(JA長野厚生連) 13
- 第1回目標マネジメント研修会を開催(JA長野厚生連) 14
- 厚生連看護専門学校・するが看護専門学校合同入学式を開催(JA静岡厚生連) 15
- するが看護専門学校で立志式を開催(JA静岡厚生連するが看護専門学校) 16
- 市民公開講座を開催(JA静岡厚生連遠州病院) 17

お知らせ

◇会議日程

18



JA全厚連

全国厚生農業協同組合連合会

〒100-6827 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル

TEL (03) 3212-8000 FAX (03) 3212-8008

E-Mail: shien@ja-zenkouren.or.jp

(経営支援グループ)

<http://www.ja-zenkouren.or.jp>

編集責任者 瀧 幹男

専門医制度等について協議 地域医療を守る病院協議会を開催

本会など地方に多くの病院を有する5団体（本会、全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会、日本慢性期医療協会、地域包括ケア病棟協会）が参加する「地域医療を守る病院協議会」は、4月26日、第7回協議会を開催した。なお、本年度の当協議会においては、本会の雨宮勇・経営管理委員会会長が議長となり、本会が事務局を担当することとなっている。

第7回協議会では、（1）今後議論が必要なテーマ、（2）医師の働き方改革、（3）専門医制度—について意見交換を行った。

（1）では、医師の働き方改革や専門医制度にかかる対応、医師偏在対策について引き続き議論することに加え、医師以外の医療・介護従事者の確保や医療機関における消費税負担の問題等についても今後議論していくこととした。

（3）では、専門医制度により、医師の地域偏在、診療科偏在が拡大する等の懸念があることから、日本専門医機構に対して要望書を提出することとした。

協議会終了後、4月27日付で日本専門医機構 理事長宛に「新専門医制度に関する要望」を提出し、①医師の地域偏在、診療科偏在の解消のための対策を講じること、②総合診療専門医について具体的な制度設計等の議論を加速して協議すること、③専門医制度の動向について適時適正な情報発信を行うこと—を求めた。

第9次3ヵ年計画策定の考え方について協議 事業企画委員会を開催

本会は5月16日、東京・大手町のJAビルにおいて事業企画委員会を開催した。

協議事項では、(1) JA全厚連第9次3ヵ年計画策定の考え方、(2) 平成29年度経営収支状況による健全性指標とその対応、(3) 厚生連病院財政調整事業、(4) 平成31年度税制改正要望、(5) 法令および税制上の課題、(6) 特例業務負担金にかかる対応、(7) JA全国大会議案一について協議を行った。

(1) では、「厚生連事業活動の堅持」を最重要テーマとして、厚生連の経営健全化に資する「制度対応支援」、現行制度の中では厚生連が対応できないことに対する「制度改正要望」、さらに、それらを支える「厚生連職員の教育研修」に取り組むことによって、「健全経営支援」を最優先として取り組むことを、第9次3ヵ年計画における方向性とするについて協議した。

報告事項では、(1) 厚生連の経営悪化を未然防止するための取組み、(2) 会計監査人監査導入にかかる課題、(3) 医師の偏在等にかかる取組み、(4) 平成30年度診療報酬等改定にかかる要望結果および影響、(5) 平成29年度特別交付税措置の活用状況、(6) 平成30年度事業企画委員会の運営、(7) その他(外国人技能実習制度等)一について報告を行った。

□通信員だより□

平成30年度新入職員研修会を開催

(かづの厚生病院)

4月3日、JA秋田厚生連・かづの厚生病院の講堂において、今年度の新入職員研修会が行われました。冒頭の辞令交付では、吉田雄樹病院長より新入職員に辞令書が交付され、当院の基本理念に掲げている「患者さんの立場になって、心のこもった医療を提供してほしい」と挨拶がありました。

その後、病院の概要や情報セキュリティ、コンプライアンス、医療安全管理などの研修が行われました。特に、コンプライアンスについては、全職員が適切に理解しなければならないものであるため、個人情報の保護、交通安全など多岐にわたる詳細な説明がありました。

午後からは接遇、医療安全管理、院内感染対策、クリニカルパスについての研修が行われ、接遇についての研修では、普段の挨拶や会話などにおいて相手の立場になって考えること、思いやりの大切さなどを確認しました。日々多くの患者さんと接する中で、研修を意識した対応を行っていきたいと思います。

今回の研修会に臨んだ姿勢を忘れずに、新入職員1人ひとりが医療従事者としての意識を高く持ち、日々の業務に取り組んでほしいと思います。



新入職員研修会の様子

(鈴木千広通信員)

2人だけの卒園式

(由利組合総合病院)

外を歩けば道端のつくしが目につくようになりました。もう春です。お子さんの卒業式や入学式で忙しかったという方も多いのではないのでしょうか。JA秋田厚生連・由利組合総合病院（佐藤一成病院長）でも、この3月、院内保育所の卒園式が行われました。今年の卒園生は2人。残念ながら1名は欠席となり、1人だけの卒園式です。

院内保育所に通う子供たちといえば、思い浮かぶのは可愛らしい笑顔と元気な挨拶。発表会のある秋には練習場所へ向かう途中で、いつも事務室に寄ってくれました。「おはようございます。」の大合唱には、パソコンとにらめっこをしている事務員も思わず笑顔になってしまいます。ハロウィンでお菓子をあげたときには写真付きのお手紙でお礼をしてくれました。

そんな子供たちから2人が卒園、4月からは小学生です。保育所のお友達とは離れてしまいますが、また新しいお友達との出会いもあるでしょう。毎日歩いての登下校、授業があつて色々な行事があつて、もう少し大きくなったら部活動も始まって、世界もどんどん広がっていきます。まずは小学校生活を思いっきり楽しんで、たくさんのことを学びながら大切な時間を過ごして行ってほしいと思います。



卒園式の様子

もしかしたら将来、医療従事者として当院に戻ってきてくれる子もいるかもしれないと期待もしています。未来への新たなステージへ進んだ2人ですが、前を向いて元気いっぱい頑張してほしいと思います。

(鈴木千広通信員)

コミュニケーションワークショップを開催

(総合病院水戸協同病院)

J A茨城県厚生連（小堀信弘・代表理事理事長）が運営する総合病院水戸協同病院（渡邊宗章病院長）では4月28日、同病院内で初期研修医を対象としたコミュニケーションワークショップを開催しました。医療の高度化や、患者の人権尊重など、医療者間にコミュニケーション能力や医療安全の能力が求められる今日、患者の家族との対話や、医療者間での電話対応等のロールプレイ研修を通して対応能力を向上させることが目的です。

同研修は「入院患者やその家族への病状説明」「電話でのコメディカルへの検査依頼」「患者急変時の家族への電話連絡」の3つの場面を想定して実施しました。それぞれ実際に起こり得る場面設定で、実践さながらの緊張感のあるものとなりました。また、研修のフィードバックとして録画された自身の対応を確認しながら同病院の小林裕幸副院長より指導を受けました。

参加者の1人は「実際に体験することで、患者やそのご家族を安心させる話し方や、正確に情報を伝えることの重要さや難しさを改めて感じた。」と話しました。

主催者である同病院の渡邊宗章病院長は「本日学んだことを熟成させ、自分の理想とする医者像に少しでも近づいて欲しい。」と話しました。



病状説明の研修風景

(坪泰弘通信員)

看護の心を伝える イベント開催

(総合病院水戸協同病院)

J A茨城県厚生連（小堀信弘・代表理事理事長）が運営する総合病院水戸協同病院（渡邊宗章病院長）は5月9日、ナイチンゲールの誕生日である看護の日（5月12日）にちなんだイベントを開催しました。患者や地域住民に看護の心を伝えることが目的です。

同イベントでは「地域に届け看護の心」をテーマとして、認知症、生活習慣病予防のセルフチェック、血圧測定を行う無料健康相談や同病院の萩谷真琴看護師長による「退院後に安心して自宅で療養するために」と題した地域包括ケア病棟の特色の説明、自宅で実践できる体操の実演が行われました。また、水戸協同病院音楽部による演奏会が行われ、会場は多くの来場者で賑わっていました。

実行委員長である同病院の根本夕子看護師長は「当院は患者中心の看護を理念に掲げている。イベントを通じて多くの人々に看護の心が届くことを祈っている」と挨拶を述べました。

来場者の1人は「看護師さんには日頃よりお世話になっているが、より身近に感じる事が出来た。このような取組みを続けて欲しい」と話していました。



水戸協同病院音楽部による演奏会

(坪泰弘通信員)

茨城看護の祭典で県知事表彰

(J A 茨城県厚生連)

第54回いばらき看護の祭典（県、県看護協会主催）が、5月12日、水戸市の県民文化センターで開催されました。「看護の心をみんなの心に」をテーマに看護の心、助け合いの心を老若男女問わず誰もが育むことを目的とし、多くの看護職関係者が参加しました。

同祭典のなかで、茨城県優良看護職員知事表彰が行われ、多年にわたり看護業務に献身的に従事し、顕著な功績のあった県内の保健師、助産師、看護師合わせて9名に大井川和彦知事より賞状が授与されました。J A 茨城県厚生連（小堀信弘・代表理事理事長）からは、総合病院土浦協同病院（酒井義法病院長）の深澤千映子看護副部長が近隣の小、中、高校に向け、いのちの大切さを伝える出前授業等の功績が認められ今回受賞の運びとなりました。深澤看護副部長は「今回の受賞は大変光栄に思っている。これからも未来を担う子どもたちのために活動して行きたい」と話しました。

祭典では、水戸市医師会看護専門学校によるキャンドルサービスや、水戸市立五軒小学校合唱部のミニコンサート、音楽家のマシコタツロウ氏の特別講演が実施され盛況でした。



県知事表彰を受ける総合病院土浦協同病院 深澤看護副部長

(坏泰弘通信員)

「JA健康寿命100歳プロジェクト」の講演会を開催

(相模原協同病院・伊勢原協同病院)

JAグループ神奈川は、「運動」「食事」「健診・介護・医療」を中心に、健康寿命を伸ばしてゆとりのある暮らしを目指そうと、「JA健康寿命100歳プロジェクト」に取り組んでいます。JA神奈川県厚生連(竹内仁・代表理事理事長)では、医療専門職による講演を行うことで、このプロジェクトを支援しています。

4月16日、JA県央愛川グリーンセンターにて、相模原協同病院 リハビリテーション室 理学療法士 鈴木伸之さんが転倒防止について講演しました。講演では、高齢者に多い転倒による骨折部位や、転倒するとどうなるのかなどを図を用いて詳しく解説しました。さらに、最近のトピックとしてフレイルや転倒予防の運動療法についても紹介しました。



鈴木理学療法士による講演



会場の様子(4月16日)

また、4月26日には、JAいせはら 本所にて、伊勢原協同病院 企画情報課 神戸俊昭課長と地域医療連携室 田中明美次長が「病院の上手な受診の仕方～意外と知らない病院のしくみ～」と題して講演しました。講師の二人は初診時選定療養費や高額療養費制度など、受診する際に役立つ情報を詳しく紹介しました。

両講演会とも、皆さん大変興味を持って参加されていました。



講演の様子
(神戸課長(左)、田中次長(右))



会場の様子(4月26日)

(金田理沙通信員)

統合医療講演会を開催

(相模原協同病院)

4月26日、JA神奈川県厚生連・相模原協同病院（高野靖悟病院長）にて、全職員を対象とした統合医療講演会を開催しました。

講師には大阪大学大学院 医学系研究科 先進融合医学共同研究講座の特任教授 萩原圭祐先生をお招きし、「心と体のレジリエンスを高める漢方医学ーよりよい医療に向けた融合医学的アプローチ」と題して、当院 保刈岳雄副院長の座長のもとご講演いただきました。

萩原先生は先進医学と伝統医学を融合させた最先端の取り組みについてお話しされ、参加した職員は学びを深めました。



萩原先生による講演



会場の様子

(金田理沙通信員)

接遇大賞の表彰式を開催

(伊勢原協同病院)

3月12日、JA神奈川県厚生連・伊勢原協同病院（井上元保病院長）にて、医療サービス向上医員会主催で行われた接遇大賞の表彰式を開催しました。これは、接遇対応が良好で模範となる職員（委託・派遣職員含む）を選出・表彰するもので、当院 井上元保病院長が運営方針に定める「接遇重視」の職場風土を醸成する目的で行っています。

井上病院長は各職員にねぎらいの言葉を述べた後、各部門別に表彰状を授与しました。また、理事長賞を看護部 4階東病棟の皆さんが受賞し、代表として川島裕子さんが当会 竹内代表理事理事長より表彰状を授与されました。竹内理事長は「人間は感情の生き物であり、どんな技術があっても接遇が悪いとそれが評価となってしまいます。今回受賞されたみなさんをお手本に、日々の業務に務めてほしい」と話しました。

今後も皆さまに満足していただけるような接遇を目指し、業務に取り組んでいきます。



接遇大賞受賞者の皆さん

(金田理沙通信員)

第22回市民公開講座を開催

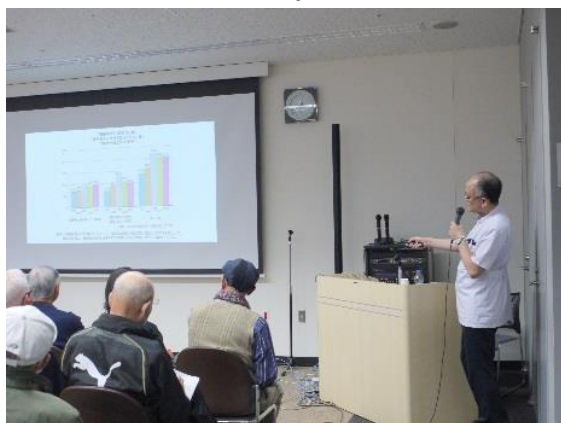
(伊勢原協同病院)

3月24日、JA神奈川県厚生連・伊勢原協同病院（井上元保病院長）にて、第22回市民公開講座を開催しました。

今回は、当院 内分泌・糖尿病内科 山脇孝副部長が「糖尿病2018～有病者数1000万人時代を迎えて～」と題して講演しました。

山脇副部長は糖尿病の症状や治療などについて詳しく説明し、参加者からは「糖尿病の仕組みについてよく分かった」などの感想を多数いただきました。

講座は予約の段階ですぐに定員に達してしまうほど盛況で、当日は多くの方に参加いただきました。



山脇副部長による講演



会場の様子

(金田理沙通信員)

地域の心の拠り所となるために

第14回新町病院祭を開催

(JA長野厚生連南長野医療センター新町病院)

JA長野厚生連南長野医療センター新町病院(本郷実病院長)は5月12日、同病院で「皆で見守り皆で支え合う地域医療をめざして」をテーマに、第14回病院祭を開催しました。地域住民などたくさんの方が来場し、終日賑わいを見せました。



屋外イベントの様子

特別講演には、信州大学医学部保健学科の山崎浩司准教授を迎え「看取りと死別から生まれるつながり～死生学が気づかせてくれること～」をテーマに講演がありました。

山崎准教授からは死生学というものの考え方についてとても興味深いお話しをいただき、来場者からも活発な質問を受けるなど関心の高さが伺えました。

また「スマイリーフジ」のマジックショーも開催。スマイリーフジことアマチュアマジシャンである安曇野市在住の藤原文夫さんは元厚生連職員で、県内を中心に地域の敬老会や病院施設などを中心に年40～50回近くのステージを開催しており、今回で通算525回のステージを迎えられました。マジックでは「ギロチン」「瞬間移動」などの



屋外イベントの様子

ネタを披露し、会場からは大きな歓声が湧き、大勢の来場者が楽しみました。

そのほか、血糖・血圧などの健康チェックコーナーや体の水分・脂肪・筋肉・骨量を調べる体組成測定、信州大学から協力いただいた食育システム「SAT」を使った食育指導、また地元中学生による吹奏楽演奏や高校生のボランティア協力のほか、各種団体によるさまざまな催しが行われ、病院と地域を結ぶ有意義な病院祭となりました。

(山岸愛通信員)

働き方改革の推進 医師の定年を67歳延長へ ～地域社会に一層貢献し続けられるための組織改革～

(JA長野厚生連)

JA長野厚生連(社浦康三・代表理事理事長)は、平成30年4月1日から医師の定年を現行65歳から2歳延長する67歳定年制を導入しました。これにより、65歳以降も引き続き当会で長年培った経験や高いスキルを持った医師の一層の活躍を図るとともに、安心して働ける環境整備を図りました。

この改革は医師の偏在により、特に中山間地小規模病院において、医師不足が顕著に現れている課題に対し、地域住民の不安解消ならびに地域医療を守るために必要な人材確保対策の一つです。

この定年延長に伴い、人事の円滑化と組織の活性化、また若い医師の意欲向上を図るため、65歳で役職を定年する制度もあわせて導入しました。

また、65歳以降の働き方を職員の意向が反映できる「働き方選択制度」を導入し、定年延長のほか、選択定年制度および定年後の再雇用制度を充実させ、医師一人ひとりのシニアプランを考える機会を設けました。

今後も「地域住民のいのちと生きがいのある暮らしを守り、健康で豊かな地域づくりに貢献する」ため、今回の制度改定のみならず、さまざまな組織改革に取り組んでいきます。

(山岸愛通信員)

第1回目標マネジメント研修会を開催

(JA長野厚生連)

JA長野厚生連(社浦康三・代表理事理事長)は、4月19、20日に第1回目標マネジメント研修会を開催しました。

目標マネジメント制度とは、職員みずからが自分の仕事について具体的な目標を設定し、その達成度を評価者(職場長など)が評価する制度のことですが、本研修会では「評価者の育成」を目的として、每期開催しています。

今期も(株)日本コンサルタントグループの桜井義男先生を講師に、制度を進めていくうえでの基本的な考え方や傾聴トレーニング、面接技法をグループワーク中心に学びました。

2日間で合計約70名の参加があり、参加者からは「本人の意思を尊重し決定していけるか、上手く引き出せるか心配」「評価を見据えた目標設定をしなければならないことを理解できた」といった声が聞かれ、評価者(上司)として、人材育成や職場のコミュニケーションの重要性を再認識する機会となりました。



(株)日本コンサルタントグループ 桜井先生



講義の様子

(山岸愛通信員)

厚生連看護専門学校・するが看護専門学校 合同入学式を開催

(JA静岡厚生連)

JA静岡厚生連は4月5日(木)、厚生連看護専門学校(浜松市東区)とするが看護専門学校(富士市中之郷)の合同入学式をホテルアソシア静岡で開き、新入生74人が看護師への1歩を踏み出しました。

JA静岡厚生連では、学校相互の連携を図り、看護師養成事業の向上ため、運営する2校合同で入学式を行っています。

看護師は、医療、介護等、幅広い現場で求められています。地域では、高度な技術や知識を身につけ、医療のニーズに応えられる看護師の育成が期待されています。

当日は、同厚生連の宮瀬雅司代表理事理事長が「看護師を取り巻く環境は、変化しており、高度な知識と教養をもった看護師が必要とされています。これからの学生生活を充実したものとし、地域を支える存在になってほしい。」と激励しました。新入生代表の鈴木悠津菜さんは「学校生活では、辛いことや苦しいことを経験し、看護師の厳しさを知ることになると思いますが、乗り越えることで自分の成長に繋がると信じ、日々感謝の気持ちを忘れず学業に励みます。」と誓いの言葉を述べました。

両校の新入生たちはこれから3年後に看護師として働くために切磋琢磨しながら日々を送る事になります。

名前を呼ばれて元気よく返事をする新入生の声には、それを乗り越えられる強い意志がこもっていました。



合同入学式の様子

(深澤仁貴通信員)

するが看護専門学校で立志式を開催

(JA静岡厚生連するが看護専門学校)

JA静岡厚生連するが看護専門学校(諸星浩美学校長)は、「第6回看護立志式」を5月19日、富士市の同校で開催し、来賓や保護者、教職員が見守る中で、2年生33人が看護師を目指す決意を新たにしました。

2年生はナイチンゲール像から火をもらいうけ「わが手に託されたる人々の幸のために身を捧げん」と看護の精神をうたったナイチンゲール誓詞を唱和した後、厳かに会場内を周り、その後、学生一人ひとりが色紙に自分の目標とする看護師像を「一文字」で表現し発表しました。

諸星浩美学校長は「他人への思いやりを持ち、優しく気を配ることや常に感謝の気持ちを忘れず、自己の体調管理をしっかり行いながら、一人の人として成長していきましょう。そしてクラス一丸となって、看護師になるという大きな目標に向かって日々精進していきましょう。」とエールを送りました。

2年生は、これから厚生連4病院を中心とした本格的な臨床実習や、国家試験に向けての学習が始まります。式後の姿から看護師になるための決意・覚悟が感じ取れました。

なお、5月25日には、同校の姉妹校であるJA静岡厚生連看護専門学校(浜松市東区)でも立志式が行われました。



ナイチンゲール像からキャンドルの火を灯す学生たち

(深澤仁貴通信員)

市民公開講座を開催

(JA静岡厚生連遠州病院)

浜松市中区中央にあるJA静岡厚生連遠州病院(水上泰延病院長)は5月19日、クリエート浜松で市民公開講座を開きました。地域住民など、260人が参加しました。

同講座は、今回で73回目になり地域住民の健康管理と疾病に対する意識向上を目的に入場無料で定期的に行っています。毎回テーマに沿って専門の職員が講演を行います。

今回は、同院栄養科の安本美登里科長が「家族の健康を食生活から考えましょう」と題し生活習慣病の知識やその予防・改善方法について、写真や図表を用いて分かりやすく説明しました。

参加者は「決まった時間に食事するように心掛けたい。」「食事の食べ方を変えることで生活習慣病を改善できることが分かった。」と関心を寄せていました。

次回7月の市民公開講座では、「筋トレとストレッチで肩こり・腰痛・転倒を予防しましょう」と題し、肩こり・腰痛についての講演を予定しています。



講演中の様子

(深澤仁貴通信員)

□お知らせ□

□会議日程

平成30年

- 6月12日（火） 理事会 15時30分から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 6月20日（水） 経営管理委員会 10時30分から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 7月 3日（火） 理事会 15時30分から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 7月11日（水） 経営管理委員会 11時から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 7月13日（金） 医薬品セミナー（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 7月19日（木） 厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編）第1クール（都内）
～20日（金）
- 7月31日（火） 通常総会 11時から（大手町・KKRホテル東京10階「瑞宝の間」）
経営管理委員会 上記終了後（大手町・KKRホテル東京10階「平安の間」）
理事会 上記終了後（大手町・KKRホテル東京11階「桜の間」）
- 8月 4日（土） 第17回全国厚生連病院長研修会（御茶ノ水・東京ガーデンパレス（予定））
- 8月23日（木） 厚生連経営管理職層育成研修会（応用編）第1クール（都内（予定））
～24日（金）
- 9月 6日（木） 第40回厚生連病院事務長研修会（御茶ノ水・東京ガーデンパレス（予定））
～7日（金）
- 9月19日（水） 理事会 15時30分から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 9月20日（木） 厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編）第2クール（都内）
～21日（金）
- 9月25日（火） 厚生連常勤役員・参事会議 13時から（大手町・KKRホテル東京10階「瑞宝の間」）
- 10月 4日（木） 第40回厚生連病院看護部長研修会（御茶ノ水・東京ガーデンパレス（予定））
～5日（金）
- 10月17日（水） 理事会 15時30分から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 10月26日（金） 第11回厚生連病院研修医全国大会（秋田市・秋田キャッスルホテル（予定））
～27日（土）

- 11月15日（木） 厚生連経営管理職層育成研修会（基礎編） 第3クール（都内）
～16日（金）
- 12月 1日（土） 第31回厚生連病院長セミナー（御茶ノ水・東京ガーデンパレス（予定））
- 12月 4日（火） 理事会 15時30分から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 12月13日（木） 経営管理委員会 15時30分から（大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 12月18日（火） 厚生連経営管理職層育成研修会（応用編） 第2クール（都内（予定））
～19日（水）
- 平成31年
- 1月16日（水） 理事会 15時30分から（東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 1月22日（火） 厚生連常勤役員・参事会議 13時から（大手町・KKRホテル東京11階「孔雀の間」）
- 1月29日（火） 厚生連会長会議 11時から（大手町・KKRホテル東京10階「瑞宝の間」）
- 2月 6日（水） 理事会 15時30分から（東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 2月14日（木） 経営管理委員会 13時から（東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）
- 3月 6日（水） 臨時総会 11時から（半蔵門・ホテルグランドアーク半蔵門4階「富士西の間」）
- 3月13日（水） 理事会 15時30分から（東京・大手町・JAビル27階「全厚連会議室」）